

八戸市地域おこし協力隊活動状況報告書

八戸市長
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 福岡 沙織

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2024年6月分】

1. 実施した活動の概要・状況

ふるさと寄附金業務、イベント従事、取材・撮影、メディア訪問、ラジオ収録対応、及びSNSによる広報活動を行った。

(主な活動)

◇仙台メディア訪問

6月20日から21日の2日間にかけて、仙台市内のメディア3社を訪問し、八戸圏域の観光PRと意見交換を行った。

1社目に訪問した株式会社プレスアートは、ゆとりのある大人世代をターゲットに、厳選した仙台・宮城・東北の歴史、文化、美術、グルメ、温泉、旅、エンターテインメントなどを紹介する雑誌『Kappo 仙台闊歩』を出版している。過去に、八戸市内の観光やグルメ情報を掲載していることもあり、八戸市に興味を持っている印象であった。

2社目に訪れた河北新報社では、フリーペーパー『河北ウィークリーせんだい』を仙台エリアを中心に毎週約42万部発行している。河北ウィークリーせんだいでは、頻繁に八戸圏域の情報を記事に取り上げているため、掲載に向けた打合せや校正等でやり取りをしている担当者とは直接挨拶をする良い機会となった。意見交換をする中で、仙台市の出版社にも関わらず、八戸市に高い関心を持って八戸圏域の魅力を広めようという思いが伺えて、非常に嬉しく感じた。

3社目に訪れた仙台放送は、宮城県を放送対象地域とするテレビ局で、今回初めて訪問した。宮城県内に向けた放送がメインであり、青森県には無いフジテレビ系列の局であったため、八戸圏域の情報を仙台放送が制作する番組で取り上げることは少ないことが分かった。しかし、東北6県でイベント企画などをしており、VISITはちのへとも共同で取り組める企画がある可能性を感じた。

今回のメディア訪問で、過去に八戸圏域の情報を掲載したことがあるメディアに関しては、八戸圏域に好感を持っている方々が多いことが分かった。一方で初めてお会いした方は、当然ながら認知度がそれほど高くなく、宮城県内での八戸圏域に対するリアルな知名度を知ることが出来た。首都圏よりも青森県に訪れやすい距離にある宮城県で、今後も効果的な観光PRをして行けるように努めていきたい。



株式会社プレスアート



河北新報社

2. 翌月の活動予定

ふるさと寄附金業務・新規返礼品提案、撮影・取材、SNS 発信、八戸三社大祭従事、ラジオ出演。